

東北総体記録連絡票(様式D) ~全競技日程終了後~

平成23年8月28日(第2日目)

No.


※用紙サイズ:A4縦

競 技 名	バスケットボール	競 技
発 信 者 名	加藤光司	
運 絡 先		

1 第66回国民体育大会出場権獲得県一覧

種別(種目)	出場数	国民体育大会出場権獲得県
少年男子	1	福島県
少年女子	6	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
成年男子	1	山形県
成年女子	1	山形県

(県記録本部で記入)

受信係	点検係	総務・記録係	印刷・配布係
			

第38回東北総合体育大会バスケットボール競技組合せ

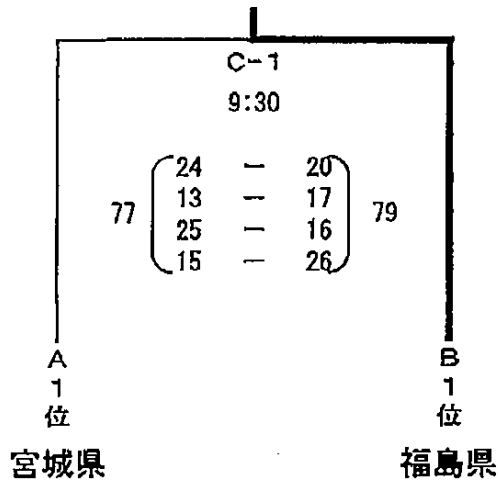
		少年男子	成年男子	成年女子
Aブロック	a	宮城	秋田	山形
	b	秋田	宮城	青森
	c	岩手	岩手	宮城
Bブロック	a'	福島	青森	秋田
	b'	山形	福島	福島
	c'	青森	山形	岩手

8月27日(土) ブロック別予選リーグ

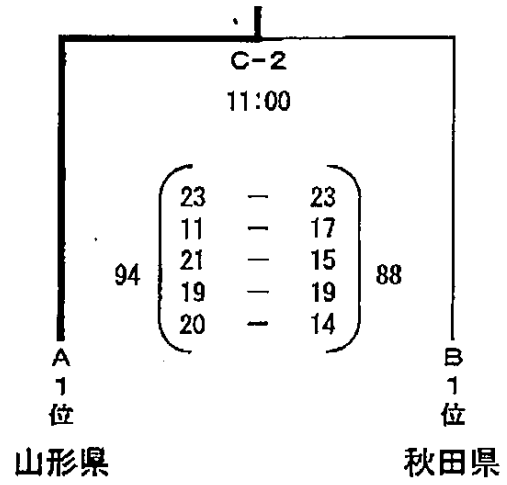
会場・コート		白石市文化体育活動センター					
		Bコート		Cコート		Dコート	
種別		少年男子		成年男子		成年女子	
1	9:00~	a-c 宮城 VS 岩手		a-c 秋田 VS 岩手		a-c 山形 VS 宮城	
		108 (33-16, 27-16, 26-25, 22-28)	85	75 (16-22, 18-20, 20-10, 21-29)	81	87 (25-12, 26-14, 22-8, 14-10)	44
2	10:30~	a'-c' 福島 VS 青森		a'-c' 青森 VS 山形		a'-c' 秋田 VS 岩手	
		97 (28-11, 24-19, 24-16, 21-18)	64	70 (18-26, 23-16, 15-24, 14-27)	93	97 (32-11, 22-11, 17-15, 26-20)	57
3	12:00~	c-b 岩手 VS 秋田		c-b 岩手 VS 宮城		c-b 宮城 VS 青森	
		89 (16-24, 17-19, 15-26, 41-35)	104	93 (22-12, 27-20, 12-18, 14-25, 18-9)	84	74 (18-12, 27-10, 8-25, 21-12)	59
4	13:30~	c'-b' 青森 VS 山形		c'-b' 山形 VS 福島		c'-b' 岩手 VS 福島	
		68 (12-16, 12-20, 18-13, 16-9, 10-14)	72	100 (28-15, 23-21, 27-16, 22-24)	76	70 (10-18, 10-17, 30-16, 20-18)	69
5	15:00~	b-a 秋田 VS 宮城		b-a 宮城 VS 秋田		b-a 青森 VS 山形	
		92 (27-19, 19-25, 17-19, 14-14, 15-20)	97	73 (22-15, 19-25, 17-24, 15-13)	77	47 (13-22, 10-37, 15-25, 9-29)	113
6	16:30~	b'-a' 山形 VS 福島		b'-a' 福島 VS 青森		b'-a' 福島 VS 秋田	
		58 (10-20, 13-18, 20-19, 15-27)	84	86 (24-20, 20-25, 25-9, 17-15)	69	41 (9-30, 9-24, 12-23, 11-14)	91

8月28日(日)決勝トーナメント

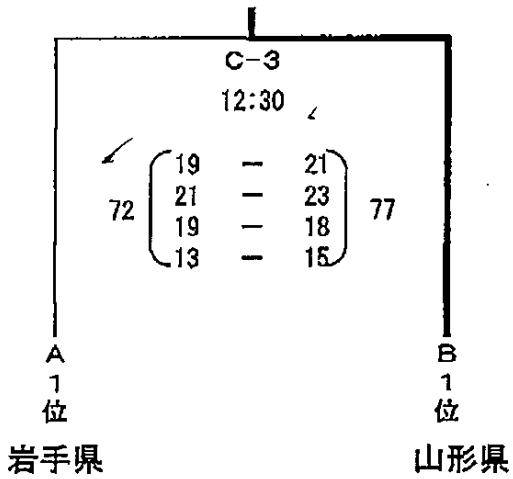
【少年男子】



【成年女子】



【成年男子】



種目 順位	成年男子	成年女子	少年男子
第1位	山形県	山形県	福島県
第2位	岩手県	秋田県	宮城県

【戦評】 少年男子決勝

平成 23 年 8 月 28 日 (日)	協会名: 宮城県バスケットボール協会	
場所: 白石市文化体育活動センター	記入者: 遠藤 匡 範	
チーム A 宮 城 県 77 少年男子	(24-20 13-17 25-16 15-26)	チーム B 79 福 島 県 少年男子

1P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり、宮城は#4阿部のインサイドを強調したオフェンス、一方の福島は#7ニッセンのアウトサイドシュートで得点を重ね、一進一退の攻防が続く。#4阿部、#9蜂谷らのインサイドを支配した宮城の攻撃に、福島ディフェンスはファウルがかさむも、得たフリースローを決めきれず、点数を伸ばすことができない。福島は、ボール保持率こそ低いものの、激しいディフェンスからのファストブレイク、そこからのアウトサイドシュートと、#7ニッセンがコンスタントに得点を重ねる。終盤、プレッシャーを強める宮城のディフェンスに攻めあぐむ福島に対し、宮城は#4阿部、#9蜂谷が立て続けにインサイドを攻め、24-20と宮城4点リードして第1ピリオドが終了した。

2P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。福島は、1対1のスペースを埋める厳しいディフェンスで、宮城オフェンスを約2分間、無得点に封じ、その間に#4山岸の2本の3ポイントで同点に追い付く。何とかリードしたい宮城は、#9蜂谷のドライブ、#5早坂の3ポイントで先行するも、福島ディフェンスの前にボールの受け手が機能せず、点数を伸ばすことができない。その間に福島は、控えの#14八代、#11白井らが奮起し、リードを許さない。終盤、福島は2度のオフェンスファウル、宮城はトラベリングなど、互いにミスが続き、37-37の同点で、第2ピリオドが終了した。

3P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。宮城は、福島の1対1に対するカバーディフェンスが機能し、約4分間無得点に抑える。その間オフェンスでは、#9蜂谷のドライブなどでリードする。残り7分で#8川嶋を投入すると、これが功を奏し、早い展開から#7藤井のドライブ、#10菊地の2本の3ポイントなど一気にたたみかけ、このゲーム最大の14のリードを得る。何とか対抗したい福島は、#7ニッセンの1対1、#5中畑の3ポイントなどで点数を重ねる。また、前からのプレッシャーディフェンスにスイッチし、活路を見出したいところだったが、宮城の速いオフェンスを遮ることができず、62-53と宮城が9点リードして第3ピリオドが終了した。

4P 宮城はマンツーマンディフェンス、福島は2-1-2プレスでスタート。ボールを高い位置で奪いたい福島ディフェンスに対し、宮城は#7藤井からのパスワークで速攻を生み出し、#10菊地らが得点を重ねる。対する福島は、マンツーマン、2-3ゾーン、1-3-1ゾーンなど、様々なディフェンスを多用し、#7ニッセンのドライブ、#9奥井の得点などで追いつがる。中盤、福島のプレスディフェンスが徐々に効きはじめる、宮城はターンオーバーが増えていく。その間に、#11白井がドライブ、アウトサイドと立て続けに得点を重ね、点差を詰める。終盤、宮城は福島のドライブインを止めることができず、また持ち前の速いオフェンスも遮られ、2分間無得点となる。その間に福島は、ファウルで得たフリースローを#11白井、#13山田らが着実に決め、残り1分に75-75の同点に追い付く。福島は徹底してリングヘアタックし続け、追いつがる宮城の攻撃をしのぐと、残り8秒で#4山岸が得たフリースロー2本を着実に決め、これが決勝点となった。

持ち前の厳しいディフェンスで、攻撃力ある宮城を破った福島が、77-79と接戦を制した。